

質 問 書

1 市政についての質問

(1) 市民の命を守る施策

ア 市有施設に設置しているAEDを使用した事例は何件か。また、使用した事例のうち、救命につながった事例は何件か。

イ 小中学校や放課後児童施設、公立保育園・幼稚園、子育て支援センター、社会体育事業について、次の項目はどうか。

(ア) 救命救急講習の実施状況はどうか。

(イ) さいたま市では、児童が校内で突然倒れた際に、AEDが設置されていたにもかかわらず使用されず亡くなった事例を教訓に「ASUKAモデル」という救命マニュアルを作成し、随時更新しているが、救命マニュアルを作成しているか。また、「ASUKAモデル」を活用した講習会を開催してはどうか。

ウ AEDを設置している施設が施錠されていても、人命救助のためにガラスを割って、施設に入りAEDを使用することなどは懲罰の対象にならないことから広く周知すべきと考えるが、見解はどうか。

エ 施設の敷地外で事故等が起きた際はAEDを使用することを想定していないことが課題であるとの国の調査結果がある中で、施設の敷地外からAEDの使用要請があった際の取り扱いについて検討を行ったことはあるか。また、施設の敷地外でAEDを使用する際のマニュアルを作成し周知を図るべきと考えるが、見解はどうか。

(2) 戦没者慰霊祭と遺族会の今後

ア 戦没者遺族への弔慰金や年金の対象となる基準はどうか。また、受給者数の推移を把握しているか。

イ 戦没者遺族の高齢化に伴い、全国的に遺族会の解散が増加しているが、上田市遺族会からはどのような要望があるか。また、上田市遺族会の存続についてどのように考えているか。

ウ 各地域の戦没者慰霊祭は、市が支援や援助を行って開催を継続するか、段階的に統合して市の戦没者追悼式に統一することが想定されるが、見解はどうか。

エ 上田市戦没者追悼式の参列者は上田市遺族会の会員が中心であるが、会員の減少が避けられない状況にある。このため、平和祈念式典であることも踏まえて中学生以上の市民を対象にした式典に移行すべきと考えるが、見解はどうか。